

表計算ソフトを活用したデータ通信プログラミング

概要

マイコン制御設計／パソコン制御設計（各種制御含む）の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）に向けた通信手順の設計やデータ収録システムの開発実習を通じて、表計算ソフトを活用したデータ通信プログラミング習得します。

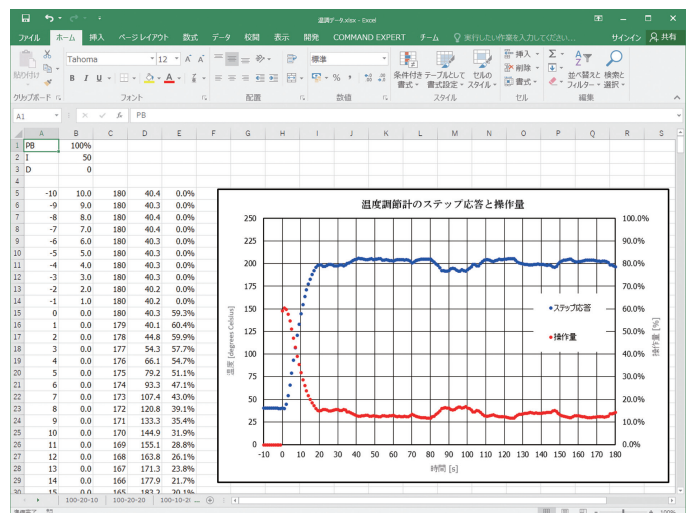
対象者

制御システム開発に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

コース番号	日 程	時 間	日数	総時間	定 員	受講料(税込)
4D042	8/6(火)、8/7(水)	9:00～16:00	2日	12H	10人	9,000円

内 容

- コース概要及び留意事項
 - コースの目的
 - 専門的能力の現状確認
 - 安全上の留意事項
- シリアル通信の概要
 - シリアル通信のデータフォーマットと電気的特性
 - 通信データ解析実習
- 表計算ソフトプログラミング
 - データ蓄積処理の定義
 - 操作画面の作成
- 通信処理プログラミング
 - シリアル通信の初期化
 - 制御コマンドとデータの送受信
 - 通信手順
- データ収録システム開発実習
 - データの受信と蓄積
 - 蓄積データの集計とグラフ描画
 - データ収録システムの開発実習
- まとめ
 - 実習の全体的な講評及び確認・評価



UARTによって取得したデータをグラフ化した例

使用機器 表計算ソフト、パソコン一式、通信ケーブル

使用テキスト 自作テキスト

受講者持参品 筆記用具、データ持帰り用USBメモリ

講師 北陸職業能力開発大学校 講師

ステップアップ

受講者の声 通信に関して設定するだけだったのが、設定の内容を聞くことができた。

事業主の声 金型の各所の温度を同時に測定する際に使用できる。